

令和7年度 岡山県立笠岡高等学校 学校経営の具体的計画(案)

本年度の重点目標	分掌	本年度の重点目標を達成するための課・年次での重点目標 (めざす具体的な姿)	本年度の重点目標を達成するための課・年次内での具体的方策 (教育活動)	評価基準
1 可能性を引き出す個別最適な学びの促進	教務課	少人数・習熟度別授業と3つの学びのコース別授業を中心に個別最適な学びを実現し、学力向上を図る。	・少人数・習熟度別授業や3年次3つの学びのコース別授業を、教科と連携して効果的なものになるよう運用していく。 ・学力向上委員会と連携して授業改善のための取り組みを行う。 ・今年度学校全体で導入するAI搭載ICT教材tokuMo(トクモ)の効果的な活用を研究する。	学校自己評価アンケートで評価。 (生徒)「選択希望や進路志望、習熟度等で講座を分けた授業は、あなたの知識の深まりや成績向上につながっていると思いますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①＋②の割合(R6 89%、R5 92%、R4 89%) 4:90%以上、3:85%以上、2:80%以上、1:80%未満
	教務課	ICTの積極的な活用を通して興味関心を広げ、生徒個々の学びが深化できるような支援を行う。	・教科等と連携してICTを活用できる環境を整え、主体的・創造的な学びを支援する。 ・DX加速化推進事業で整備したDXルームや機材を活用した教育活動を充実させる。	学校自己評価アンケートで評価。 (生徒)「笠岡高校のICTを活用した学習は、あなたの興味関心を深める、または、学習内容の理解を助けるものとなっていると思いますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①＋②の割合(R6 89%、R5 88%、R4 77%) 4:90%以上 3:85%以上 2:75%以上 1:75%未満
2 夢と志を育むキャリア教育の深化	進路課	ACTを中心としたカリキュラムマネジメントを推進し、未来開拓力を育む。	ACTプログラムでの学びと教科や特別活動での学びとの往還を意識した教育活動が展開できるよう、校内外での生徒の学びの機会の充実を図る。	学校自己評価アンケートで評価。 (生徒)「笠岡高校は、「総合的な探究の時間(ACT)」などを利用して、将来の進路や生き方について、考えを深め、主体的に進路選択ができるように、計画的に指導ができていますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①＋②の割合(R6 87%、R5 82%、R4 79%) 4:90%以上、3:80%以上、2:70%以上、1:70%未満
	進路課	キャリアカウンセリングを充実させ、個性と可能性を伸ばす進路指導を推進する。	生徒一人一人に応じたキャリアカウンセリングが効果的に行えるようにカウンセリングシステムを工夫・改善する。	学校自己評価アンケートで評価 (生徒)「笠岡高校は、面談などを利用して一人ひとりの生徒に応じた進路指導を行っていますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①＋②の割合(R6 93%、R5 94%、R4 89%) 4:90%以上、3:85%以上、2:80%以上、1:80%未満
3 主体性と豊かなつながりを生み出す活動の充実	総務課	生徒が主体的に広報活動に参画できる機会を設けるとともに、生徒目線の広報活動を推進する。	広報活動の企画や運営において生徒が主体的に活躍できる場を設け、ホームページを中心に生徒の活動の様子や学校情報を効果的に発信する。	広報活動において生徒が参画した事業数で評価。 (R6 8件、R5 8件、R4 6件) 4:9件以上 3:8件 2:7件 1:6件以下
	教務課	国際社会で活躍できる人材の育成につながるグローバルな視点を育むための国際交流活動を推進する。	関係機関と連携して、セブ島短期語学研修、マレーシア訪問団との交流、マレーシアの高校とのオンライン交流などの国際交流活動の企画と運営を行う。	国際交流活動に参加した生徒にアンケートを行い、評価。 「国際交流活動を通して、語学や海外の文化に、より興味や関心を持つようになったと思いますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①＋②の割合(新規実施) 4:90%以上、3:80%以上、2:70%以上、1:70%未満
	生徒課	ホームルーム活動や生徒会活動(各種委員会や学校行事等)への生徒の主体的な参加を促す。	・各学校行事の実行委員を募り、生徒会執行部中心に組織化するとともに、多くの委員会や部が主体的に活動に取り組める体制を整える。 ・事前打ち合わせや役割分担が効果的に行われるよう指導する。	学校自己評価アンケートで評価。 (生徒)「ホームルーム活動や生徒会活動(各種委員会や学校行事等)に、生徒が主体的に参加していると思いますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない (生徒)①＋②の割合(R6 91%、R5 90%、R4 88%) (教員)①＋②の割合(R6 97%、R5 85%、R4 90%) 4:90%以上、3:85%以上、2:80%以上、1:80%未満 生徒と教員の指標で総合的に評価する。
	生徒課	挨拶をはじめとしたコミュニケーションスキルを高め、人権を尊重し、好ましい人間関係を形成する能力の向上を図る。	・生活委員会や生徒会執行部を支援し、生徒主体のあいさつ運動の実現を目指す。 ・教員が率先して挨拶を日々励行するとともに、日々の声がけにより、礼儀などの社会で生かせる基本的なコミュニケーション力の向上を図る。 ・日々の生徒観察の他、学校生活アンケートや心理検査アセスを定期的実施し、教育相談室や担任と連携していじめの未然防止に努め、生徒の人権意識の向上を図る。	学校自己評価アンケートで評価。 (生徒)「笠岡高校の生徒は、学校内や地域で、積極的に挨拶ができていますか。」 (教員)「笠岡高校は、積極的に挨拶をするよう指導ができていますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①＋②の割合:生徒(R6 68%、R5 68%、R4 64%) 教員(R6 61%、R5 68%、R4 66%) 4:70%以上、3:60%以上、2:50%以上、1:50%未満 生徒と教員の指標で総合的に評価する。 (生徒)「笠岡高校は、いじめのない学校づくりを目指し、人権尊重の精神を養う指導ができていますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①＋②の割合:生徒(R6 87%、R5 86%、R4 83%) 4:90%以上、3:80%以上、2:70%以上、1:70%未満